

1 貧困をなくそう



ケニア マサイ居住地区。

電気が灯した

農業という希望。

パナソニックの電化支援による地場産業モデルづくり

タンザニア国境近く、マサイ族がくらす小さな村。この地域では畜産のほかに主な産業がなく、多くの家庭が貧困の問題を抱えています。そこでパナソニックは、国際NGOの協力のもと、村に太陽光発電・蓄電システムなどさまざまな機器を提供。電化による人々の生活向上を支援しています。たとえば農業のモデルとして、小学校の一面を耕し灌漑用の水ポンプを設置。川から水を汲み上げ、畑に散水します。育てた作物は、学校の児童たちの給食やコミュニティの収入源となり、村の明日を支えています。パナソニックはSDGsの取り組みを通して、その技術で、ソリューションで、活動で、よりよいとくらしと世界づくりに貢献していきます。



畑に設置された貯水タンク

A Better Life, A Better World



SDGs17の目標に向けた、パナソニックの取り組みをシリーズでご紹介しています。

※ 写真提供：国際NGOワールド・ビジョン